

医師志望論



中2から5年間取り組む「医師志望論」。医学にかかわる多様なテーマについて調べ考えることで、なぜ医師になるのか、自分と向きあいます。

サマーセミナー



夏休み中に行われるサマーセミナーは、医療の現場を訪れ、医師の方々とも触れあう充実したプログラムです。

新校舎



フロアごとに「サイエンス」や「アート」などのテーマが設けられ、図書館をはじめ様々な特別教室が配置される予定です。

科の先取り、中2〜高3まで必修の授業「医師志望論」や高1から始まる宿泊合宿「サマーセミナー」の実施があげられます。

宝仙学園は、もともと数学と理科の授業が多く設定されている学校でしたが、医学進学コースではさらに、中1からこの2教科の先取りを開始し、医学部医学科進学を見据えた力を形成していきます。

「医学部に向けた勉強は、なかなか大変だと思います（笑）。しかし、同じ志を持つ仲間がいるのできつと頑張れます。入学後はまず、焦らず学校生活のリズムに慣れることから始めます。そのうえで中2から医師志望論に取り組むのです。医師志望論ではチーム医療や脳死など、医学

関連のテーマについて、生徒同士でディスカッションをします。

すでに始まっている高1の医師志望論では、地域医療について話し合いを重ねています。生徒は、自分の思いを率直に言葉にしながら、仲間の意見にも耳を傾けていました。難しい問題も多いですから、自らが理想とする医師像を実現できるのか、と葛藤が生まれるかもしれません。しかし葛藤を乗り越えたうえで医師をめざし、理想を現実にくれられたらと願います」と富士校長先生。

医師志望論で扱った地域医療の現場を見るため、サマーセミナーで訪れたのが新潟県です。新潟県は東京都などと比べて医師が少なく、また地域によって医師が偏在していると

いう現状があります。

2泊3日のセミナーのなかで新潟大学の医学部と、附属の医歯学総合病院を見学し、地域医療の実態に触れました。また、都内で医師をしている宝仙学園の卒業生と、宝仙学園から新潟大学に進み、現在佐渡島で研修医をしている卒業生も駆けつけてくれ、医師とはなにかをテーマに話しあいの場を持ったといいます。

「地域医療の現状を目の当たりにし、医師の生の声に触れたことは、『なぜ医師になりたいのか』を改めて考えるきっかけになったでしょう。卒業生の参加も大変ありがたかったです。医学進学コースは、まだ生まれただけです。保護者の方も含め、みなさまの手を借りながら、

大切に未来の医師を育てていきたいですね」（富士校長先生）

確かな学力と豊かな人間性を身につけ、自らときちんと向きあいながら夢の実現へと歩みを進められる医学進学コース。2026年度入試の同コースの募集は、2月1日午後（10名）と2月4日午後（15名）をはじめ4回です。入学後は、従来からあるほかのコースと混合クラスが編成されます。数学と理科以外はともに学び、行事にもいっしょに取り組むなかで、多くの生徒と触れあい人間性に磨きをかけます。

知的で開放的な広場で、多様な仲間たちとそれぞれの目標を持って学べる順天堂大系属理数インター。新たな歴史の1ページが開かれました。



学校法人 宝仙学園

じゅん てん どう だい がく けい そく り すう

順天堂大学系属理数インター

中学校
高等学校

〈共学校〉

医学部をはじめ、受験生に高い人気を誇る順天堂大学。昨年、同大学と宝仙学園が協定を結び、順天堂大学系属理数インター中学校・高等学校が誕生しました。人間性を高める教育を活かし、医師をめざす生徒を支援する新たなコースもスタート。宝仙学園創立100周年を迎える2028年に向けて新校舎も建設中で、今後ますますのにぎわいをみせるでしょう。

School Information

所在地：東京都中野区中央2-28-3
アクセス：地下鉄丸ノ内線・都営大江戸線
「中野坂上駅」徒歩3分
電話：03-3371-7103
URL：<https://www.hosen.ed.jp/jhs/>

Event Information

- 親子で楽しむ「理数インター」
体感授業 要予約
11月8日(土) 11:00~12:30
- 来校&オンライン中学説明会 要予約
11月22日(土) 14:30~16:00
- 入試体験会 要予約
12月13日(土) 8:30~12:30



新コース始動／

自らが思い描く「医師」をめざし
学力と人間性を高める

多様性を尊重する教育
「学校は認め高めあう広場」

2007年に設立された宝仙学園中学校共学部理数インターが、2024年春、順天堂大学系属理数インター中学校・高等学校（以下、順天堂大系属理数インター）として生まれ変わりました。系属校化に伴い、この4月には、「医師になる」という夢を抱く生徒を支援する医学進学コースを中高同時に開設。順天堂大学医学部への系属校入試枠（数名）も設けられています。

人の命にかかわる医師という職業に就くためには、難関とされる医学部へ合格し、6年間の学びを経て国家試験に合格しなければならず、高い学力が必要とされます。しかし、学力さえクリアすればよいのではなく、患者に寄り添う心や、仲間の医療従事者と協働するためのコミュニケーション力を有するなど、高い人間性も求められます。

この学力と人間性の両方を育てられる学校として、順天堂大系属理数

インターはスタートしました。その教育を表す言葉は「自己ベストの更新」と「知的で開放的な広場」です。

富士晴英校長先生は「本校は入試形式が日本一豊富だと自負しており、多様性にあふれる学校です。生徒はみな、『なにか』を必ず持っています。それを伸ばす手助けをするのが教育でしょう。だれかと比べるのではなく、1人ひとりが自らの個性や魅力を磨いていけばいいのです。失敗したら、それを受け止めて失敗からも学ぶ。自分で考える姿勢を大切にしつつ、異なるよさを持った仲間と、違いを認めあいながら高めあう広場、それが本校のあり方です」と、2つのキーワードについての思いを語られます。

なぜ医師になりたいのか
自分としっかり向きあう

生徒個々の人間性を尊重しつつ、可能性を引き出すという学校の思いは、医学進学コースの指導においても同様です。

コースの特徴としては、数学と理